

文部科学大臣奨励賞

該当者なし

残念ながら、今回は該当作品がありませんでした。次回は更にレベルアップした作品がたくさん応募されることを期待します。

下記に注意するとよい点をいくつか挙げますので、ぜひ参考にしてみてください。

- 1.身近な生活の中から材料を見つける。
- 2.自分の足を使って、調査や研究をする。
- 3.学年相応の研究のねらいや方法、内容にし、表記の仕方を工夫する。
- 4.学年相応のまとめ方をする。



社会科部門

△総評▽ 身の回りで疑問に感じた事をテーマに取り組んだ作品が多く見られました。どうしてその疑問がうまれたのかを具体的に書くことや、「結果」に対して自分の考えを交えつつ、まとめた作品が増えることを期待します。

問題に対し、自ら対策を考え実行できました。

昨年の研究がきっかけとなり、今回の研究テーマがうまれました。



子どもの文化・教育研究所理事長賞

わくわくゴミ拾い2…ポイ捨てほくめつ大作戦
京都で一番きれいな町を目指して

京都府 京都市立椋原小学校 4年

大窪 優里

4年生らしい問題関心と行動力でまとめた研究です。自分の住む京都市だけでなく、祖母の住む愛媛県大洲市でも近所のゴミを拾い続けた行動力をまずほめてあげたいです。毎日「バコ」「食品ほつそ」「その他」に分けてゴミ拾いに専念し、それを数値化したことも素晴らしい成果です。愛媛県の方や京都市の関係者から温かい言葉をもらっているのもほほえましいです。このような研究が将来にむけてさらなる成果を生んでいくことを期待しています。

「曾祖父からの便り」

税関から返って来た通帳から見えて来た事

和歌山県 和歌山市立宮小学校 6年

西山 波留

意表をつかれた作品です。現代の子どもが満州から引き上げてきた曾祖父に関する通帳などを探し出し、当時の歴史的背景を探る貴重な研究となっています。会ったことのない曾祖父の当時の生き方・思いにアプローチしているのが素晴らしいです。「ぼくの命は、曾祖父が命がけでつないでくれた命だ」とこの研究を通して分かりましたと書いていますが、まさに社会科で歴史を学ぶ意義を示しています。今後のさらなる発展に期待します。

中央出版株式会社社長賞

石垣島の宝 名蔵アンパルを守りたいⅢ

沖縄県 石垣市立眞喜良小学校 6年

田淵 鈴夏

実験結果から新たに出的疑問を、さらに実験をかきね、解決へとながっている点が素晴らしいです。これまでの活動をシンポジウムで発表するなど、熱意が感じられます。

項目だてをしたり、地図を描いたり、見やすい資料になるよう工夫できています。

ぼくの家まわりを調べてみたよ。

愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 3年 佐藤 孔明

わたしの町の音楽地図

渋谷の音・昔・未来

東京都 白百合学園小学校 4年 近藤 亜衣子